

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまねブランド推進課長 日下 純子 電話番号 0852-22-6858

事務事業の名称	県産品販路拡大事業	
目的	(1) 対象	県産農林水産物とその加工品の生産者・製造者
	(2) 意図	県外への販路を拡大する
事業概要	県内で生産される農林水産物、加工製造される食品の販路拡大を図るため、大消費地を対象に事業者が取り組む販売促進活動を支援する。 ○県パートナー店との連携によるフェア開催やバイヤー招聘 ○インターネットを活用した県産品の紹介 ○消費者ニーズ、小売店等の意見を反映した商品開発を支援するため、必要な知識や手法を学ぶ研修を実施 ○広島地区消費者モニターを活用したニーズ調査支援 ○にほんばし島根館及び物産観光館における県産品の紹介、斡旋	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内食品加工事業者のうち、主原料に主に県内農林水産物を使用する事業者の割合	目標値		30.0	33.0	36.0	40.0	%
		取組目標値						
	式・定義 事業者の割合	実績値		-				%
		達成率		-	-	-	-	
2	指標名 しまね県産品販売パートナー店における県産品年間販売額	目標値		1,333.0	1,395.0	1,461.0	1,530.0	百万円
		取組目標値						
	式・定義 年間販売額	実績値		1,158.0				%
		達成率		-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	169,138	177,364
うち一般財源 (千円)	169,138	177,364

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H27年度実績
 ○パートナー店等でのフェア開催実績は、開催回数40回、参加企業（延べ）494社であった。
 ○生産者・製造業者向け基礎講座の受講者人数は18人であった。
 ○消費者モニター事業活用事業者（商品開発・改良を行った事業者）は6社であった。
 ○にほんばし島根館年間販売額（外商含む）は437百万円であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 島根フェア開催支援及びバイヤーへの商品提案により、県産品の県外への取引が拡大している。
- 生産者・製造業者向け基礎講座や消費者モニターの活用を通じて、商品力強化に取り組む事業者は増えている。
- にほんばし島根館は、目標売上額を達成するなど、首都圏消費者に対する島根の情報発信拠点として有効に機能している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ○県内農林水産物については、十分なロットの確保が難しい面があることから、加工食品の主原料におけるウエートの向上には限界があること、また生鮮品としても、他県産品と比べ販売価格において劣後している面がある。
 ○小規模の生産事業者、製造事業者が多いため、個々の事業者単独での販路拡大には限界がある。（人的、資金的な面で制約がある。）
 ○事業者・生産者が消費者ニーズを踏まえた商品作りが不十分な面がある。
 ○物産観光館、にほんばし島根館について、外的要因により中長期的展望が描けない状況にある。

②困っている状況が発生している「原因」
 ○県内では小規模な農業者が多いため、農林水産品の生産規模が小さく、少量多品目の生産が主体となっている。
 ○小規模事業者は、経営者の高齢化が進んでいることなどにより、販路拡大に消極的な面がある。また、資金調達においても困難な面がある。
 ○事業者・生産者が消費者ニーズを十分に把握できていない面がある。
 ○物産観光館については、県道拡幅により来館者の駐車可能台数が減少しており、来館者や売上減が懸念され、また、にほんばし島根館については、ビル所有者から退去の申し入れを受けている。

③原因を解消するための「課題」
 ○販売にあたり、市場出荷のみではなく、販売チャネルや販売手法の多様化を進め、戦略性のある販売体制を構築していくことが必要
 ○小規模事業者等に対して販路拡大に向けたきっかけづくり、資金面の支援、人材育成への支援などが必要
 ○消費者ニーズを把握し、それを商品作りに取り入れていくことが必要。
 ○物産観光館については、物産協会と連携した対応が必要
 ○にほんばし島根館については、今後の対応について幅広く検討することが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 県産品を取り扱う小売店や飲食店などへの継続的な働きかけ
- 商品力強化のための消費者のニーズ把握、研修事業の実施及びにほんばし島根館における販売データや消費者の評価を事業者へフィードバックする機能の充実
- 農林水産品における生産側と実需者との連携の強化
- 事業者の商談率を上げるため、フォローアップも含めた実効性のあるマッチングの強化、多様な販路開拓の支援
- 小規模事業者等に対して、中小企業課、商工団体等と連携し必要な支援を実施
- 東京アンテナショップの立地特性や機能・役割など、今後の方向性等について、関係者を交えた検討会を設置し、調査・検討を進めていく。

9. 追加評価（任意記載）

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	県産品販路拡大事業
---------	-----------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	にほんばし島根館の年間販売額	目標値		385.0	385.0	385.0	385.0	百万円
			取組目標値						
	式・定義	年間販売額	実績値	437.0					%
			達成率	-	-	-	-	-	
4	指標名	バイヤーズカタログ(バイヤー等に対しインターネット上で県産品を紹介するWebサイト)の閲覧数	目標値		2,500.0	3,000.0	3,500.0	4,000.0	回
			取組目標値						
	式・定義	閲覧数	実績値	-					%
			達成率	-	-	-	-	-	
5	指標名	生産者・製造業者向け基礎講座の受講者人数	目標値		20.0	40.0	60.0	80.0	人
			取組目標値						
	式・定義	平成28年度からの受講人数の累計	実績値	18.0					%
			達成率	-	-	-	-	-	
6	指標名	消費者モニター事業を活用して商品開発・改良を行った事業者数	目標値		5.0	10.0	15.0	20.0	者
			取組目標値						
	式・定義	平成28年度からの事業者数の累計	実績値	6.0					%
			達成率	-	-	-	-	-	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	